

研究のまとめ

【手立て1】自分発見プログラム

児童の振り返りから 自分発見プログラム終了後の振り返り

始めは、自分自身のよい所、悪い所がよく分からなかったけど、この自分発見プログラムを通して、自分自身のイ
トコを生かして、どんどん良くなっていくのがうれしかった
です。これからなりたい自分になるために努力した
ことを続けて、もとより自分になりたいと思っ
ています。ききき式や卒業式などの5年生から6年生
と協力する場では、よりよくするために自分のよい所
を生かしているたいです。

自分自身のよさを自覚し、
これから生かしていこう
とする気持ちをもつことが
できました。

- 他にも…
- ・自分のよさに気付いた
 - ・自分の課題に気付いた
 - ・よさを生かして成長できた
 - ・自分から行動できるようになった
 - ・これからもよさを生かしてがんばりたい



事前事後アンケートから

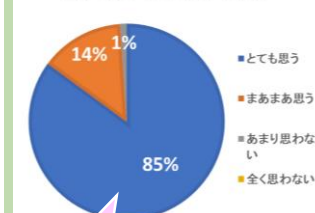
学級活動で決めた目標に向かって
がんばることができましたか

■できた ■まあできた ■あまりできなかった ■できなかった



「なりたい自分」を明確にし、そこへ向けて実践
したことが「できた」割合の大幅な増加につ
ながったと考えられる。

自分の成長や課題をこれからの生活に
生かしていこうと思いますか



ほぼ全員の児童が、実践で気付
いたことを今後生かそうとす
る気持ちをもつことができた。

「自分発見プログラム」のステップに沿って学習を進めていく
ことで、自分のよさを中心に自己理解を深めていくことができた
と考えられる。また「自分のよさを生かす」という視点をもって実践
に取り組んだことで、キャリア形成を図り、自分のよさや成長を自
覚し、それを今後にも生かしていこうとする気持ちをもつことが
できたと考えられる。



【手立て2】互いのよさを認め合う活動

児童の振り返りから

- ・友達のことを今まであまり知らなかった自分に気付いた
- ・自分のがんばりに気付くことができた
- ・どんな行動が「みんなのため」になる行動なのか分かった

友達よさに気付いたり、友達から
よさを教えてもらったりと、
互いのよさを知ることができました。



事前事後アンケートから

あなたは友達のよいところを
見つけることができますか

■よくできる ■まあできる ■あまりできない ■できない



ほぼ全員が見つけられると回答。「みんなのイトコみつけた」
を定期的にやったためであると考えられる。

友達や先生など周りの人の役に
立っていると思いますか

■とても思う ■まあ思う ■あまり思わない ■思わない



90%以上の児童が、周りの人の役に立っている
と感じることができた。

定期的によさを認め合う活動を取り入れたことで、児童は他者と進んで関わろうとする気持ちを持ち、互いのよさを主体的に見つけ、伝え合うことができるようになった。このことが、「周りから認められている」と感じることや、自分自身のがんばりに気付くことにつながったと考えられる。

研究を通して

【手立て2】で他者理解をしたり、他者を介して自分のよさを知ったりすることで、【手立て1】自分発見プログラムの学習を他者への意識をもって進めることができた。児童が、「自分から」と「他者から」の両方向から自分のよさを知り、そのよさを生かして集団の中で実践し、振り返りをして、よさや成長を自覚することができた。このように多様な他者と関わりながら学習を進めたことは、自己実現の意識を高める一助になったと考えられる。



成果と課題

多様な他者と関わりながら自分のよさに気づき、それを生かして実践したり、互いのよさを認め合う活動を行ったりすることで、自己理解を深めることができた。また、そのよさを生かしたり伸ばしたりしながら、「なりたい自分」に向けて自分にできることを考え、主体的に取り組むことができた。

キャリア形成をよりよく図っていくことができるよう、「自分発見プログラム」とキャリアパスポートとの関連を図って年間指導計画に位置付けたり、「互いのよさを認め合う活動」を学級活動だけでなく児童会活動や行事など、特別活動の他の活動とも関連付けたりしていきたい。

概要版

自己理解を深め、「なりたい自分」に向けて取り組む児童の育成

ー特別活動における「自分発見プログラム」と「互いのよさを認め合う活動」の実践を通してー

令和2年度 前橋長期研修研究員 八木橋 友紀

研究の概要

主題設定の理由

小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 特別活動編

- ・総則において、特別活動が学校教育全体を通して行うキャリア教育の要となることが示された。
- ・これからの学びや生き方を見通し、これまでの活動を振り返るなどして自らのキャリア形成を図ることは、これからの社会を生き抜いていく上で小学校においても重要な課題である。

児童の実態

- ・明確な理由をもって自分の目標を決めたり、その目標に向かって努力を継続したりすることがあまりできない。
- ・自分のよさを自覚しておらず、自信がない。

学校現場の実態・願い

- ・特別活動がキャリア教育の要として位置づけられたがどう学習を進めたらよいかわからない。(学級活動(3)の取り扱いが不透明)
- ・よさを生かして主体的に活動できる児童を育成したい

目指す児童の姿

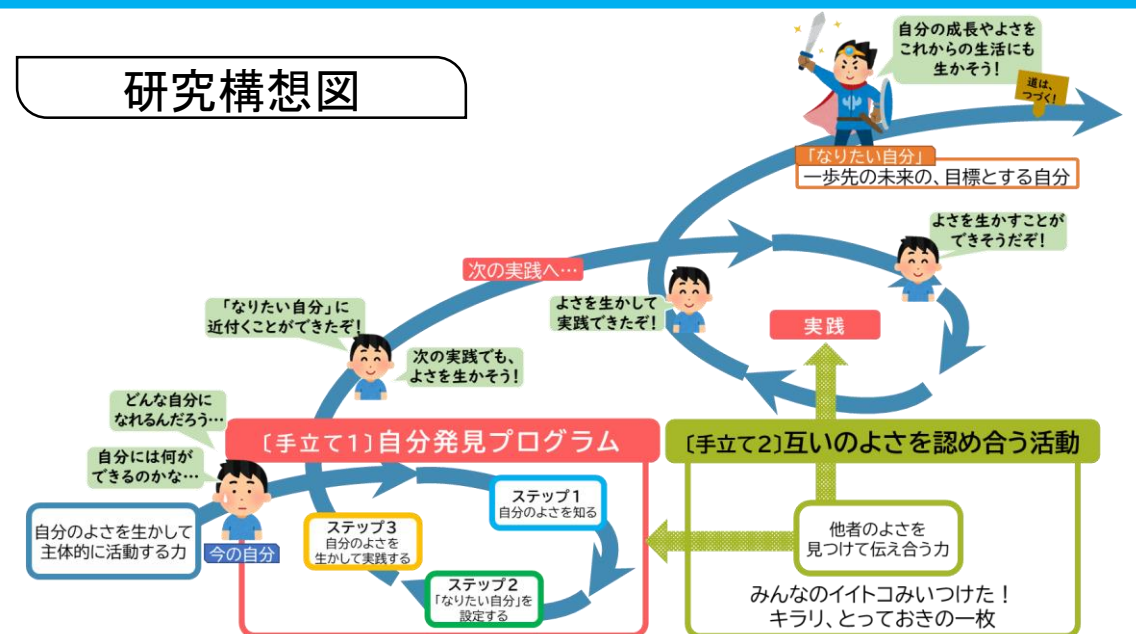
自分のよさに気づき、そのよさを生かしたり伸ばしたりしながら「なりたい自分」に向けて自分にできることを考え、実践することができる児童

研究のねらい

自己理解を深め、「なりたい自分」に向けて取り組む児童を育てるために、『自分発見プログラム』と『互いのよさを認め合う活動』を取り入れたことが有効であることを、授業実践を通して明らかにする。

研究の見通し

研究構想図



自分発見プログラムとは…

児童が自分のよさを中心に自己理解を深めながら、希望や目標をもち、その実現のために自らのよさを生かして自身の成長を生み出していく(キャリア形成を図る)ために行う学習プログラムです。

自分発見プログラムの学習は全て「自分発見プログラムBOOK」に記録していきま



自分発見プログラム

- ステップ1 自分のよさを知る
(“今”の自分を理解する)
- ステップ2 「なりたい自分」を設定する
(これからの学びや生き方に見通しをもつ)
- ステップ3 自分のよさを生かして実践する
(実践及び振り返りを行い、よさや成長を自覚する)

互いのよさを認め合う活動とは…

児童が他者のよさを見つけたり、それを伝え合ったりすることで、他者と進んで関わる気持ちをもつことができるようになるために行う活動です。短学活や朝学習など授業時間外で、定期的に行います。また、この活動を【手立て1】自分発見プログラムの学習に活用します。

実践の概要

第5学年 第6学年 学級活動(3) ア 題材名「自分発見プログラム」

【目標】・児童自身が自己理解を図り、「なりたい自分」を考え、そこへ向けて自分に合った解決方法を意思決定し、実践できる。
・自己のよさを生かしながらか他者と協働して主体的に実践し、それらを通して、自分のよさや成長に気付くことができる。

手立て1 自分発見プログラム

ステップ1 自分のよさを知る

気付いていなかった、自分のよさを発見！

★よさの一覧表

たよりになる	聞き上手	話し上手	誰とも	人の気持ち
協力	優しい	よくよく	よくよく	よくよく
聞き上手	よくよく	よくよく	よくよく	よくよく
聞き上手	よくよく	よくよく	よくよく	よくよく
聞き上手	よくよく	よくよく	よくよく	よくよく
聞き上手	よくよく	よくよく	よくよく	よくよく
聞き上手	よくよく	よくよく	よくよく	よくよく
聞き上手	よくよく	よくよく	よくよく	よくよく
聞き上手	よくよく	よくよく	よくよく	よくよく
聞き上手	よくよく	よくよく	よくよく	よくよく

★イトコみつけたの実践

たよりになる	聞き上手	話し上手	誰とも	人の気持ち
協力	優しい	よくよく	よくよく	よくよく
聞き上手	よくよく	よくよく	よくよく	よくよく
聞き上手	よくよく	よくよく	よくよく	よくよく
聞き上手	よくよく	よくよく	よくよく	よくよく
聞き上手	よくよく	よくよく	よくよく	よくよく
聞き上手	よくよく	よくよく	よくよく	よくよく
聞き上手	よくよく	よくよく	よくよく	よくよく
聞き上手	よくよく	よくよく	よくよく	よくよく
聞き上手	よくよく	よくよく	よくよく	よくよく



たよりになる	聞き上手	話し上手	誰とも	人の気持ち
協力	優しい	よくよく	よくよく	よくよく
聞き上手	よくよく	よくよく	よくよく	よくよく
聞き上手	よくよく	よくよく	よくよく	よくよく
聞き上手	よくよく	よくよく	よくよく	よくよく
聞き上手	よくよく	よくよく	よくよく	よくよく
聞き上手	よくよく	よくよく	よくよく	よくよく
聞き上手	よくよく	よくよく	よくよく	よくよく
聞き上手	よくよく	よくよく	よくよく	よくよく
聞き上手	よくよく	よくよく	よくよく	よくよく

よさの一覧表を用い、まずは「自分とはどんな人かな？」と考えて、自分のよさを表す言葉に○をつけました。

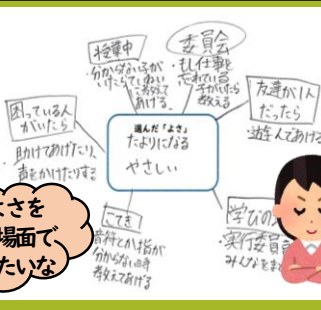
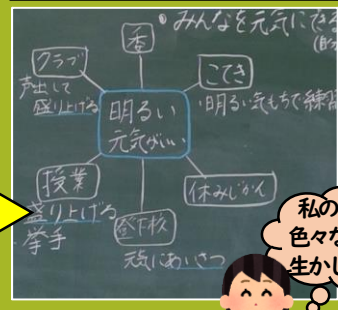
友達と互いのよさを見つけて伝え合う活動「イトコみつけた」を行いました。その後で友達からもらったコメントをもとに、自分のよさをもう一度確認してみました。

自分のよさを知ることができました。また、自分では気付いていなかったよさにも気付くことができました。

ステップ2 よさを生かして「なりたい自分」を設定する

一歩先の未来を見据え、「なりたい自分」を発見！

★「よさ」×「場面」＝「活躍」（よさの生かし方を考える）



まずは、これまでの「自分発見プログラム」で学んだ自分のよさを生かして努力していくことで、成長し、「なりたい自分」に近づいていけることを確認しました。そして、「よさ」と「場面」を組み合わせるとどんな「活躍」ができるのか考えました。

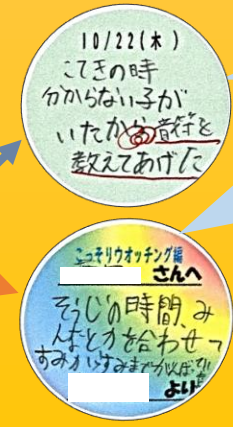
よさの生かし方を考えたウェビングマップを参考にして、「なりたい自分」について考え、意思決定することができました。

ステップ3 よさを生かして実践する

自分のよさや成長を自覚！

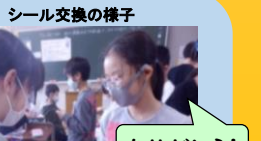
★自分発見シートの活用

実践の様子を記録し、振り返りに活用できるようにしました。



実践中、「なりたい自分」に向けてがんばったことなど、毎日の取組をシールに記録し、自分発見シートに貼っていきました。

実践の時にペアを組んだ友達と「イトコみつけた」を行い、互いのがんばっている様子を「こっそり」見合いました。その姿をシールに記入して交換し、自分発見シートに貼りました。



友達からもらったシールののおかげで、自分のよさや成長にも気付いたよ。

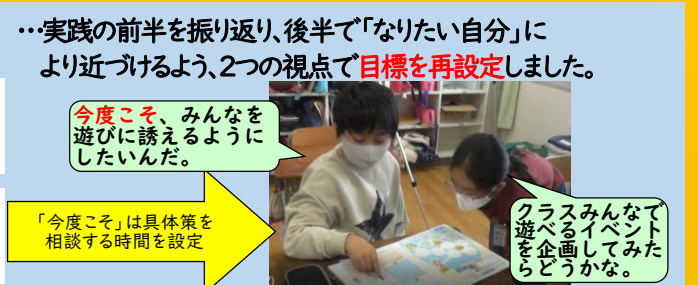
自分のがんばりが積み重なっていく様子を実感することができました。

★中間振り返り・最終振り返り

自分発見シートで実践を振り返り、よさや成長を自覚しました。



「新たに」前半よりもレベルアップした新しい目標を立てる
「今度こそ」前半でうまくいかなかった目標を改善する



最終振り返り …全実践を振り返ってよさや成長を自覚し、それを今後に生かしていく気持ちをもてるようにしました。

よさや成長の自覚
・いつも毎日頑張っているという毎日、たけど、意識するようになり、毎日努力することができた。
・自分発見シートを書くようになって、自分では気づいていなかったよさや成長に気付くことができました。

今後に生かす気持ちをもつ
・今まで、最初は、決めた「なりたい自分」に近づけようとして、でもこの期間で、終わりが近づいて、これから、もっともっと努力して「なりたい自分」になれるように、頑張ります。

実践で分かったよさを生かして、これからは成長していきたいな！

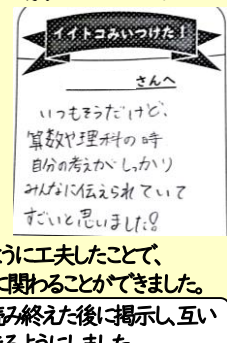
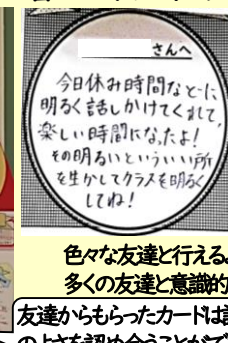
自分のよさや成長を自覚し、そのよさを今後の活動につないでいこうとする気持ちをもつことができました。

手立て2 互いのよさを認め合う活動

友達どうしてよさを見つけ、伝え合う

みんなのイトコみつけた！

友達のよさをカードに書いて伝え合う活動、「イトコみつけ」を定期的に行いました。



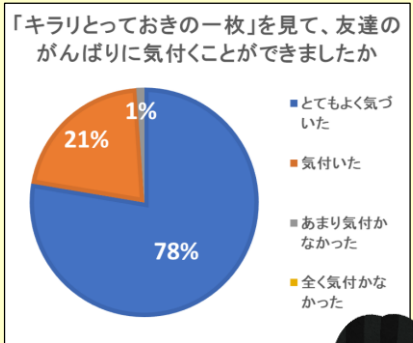
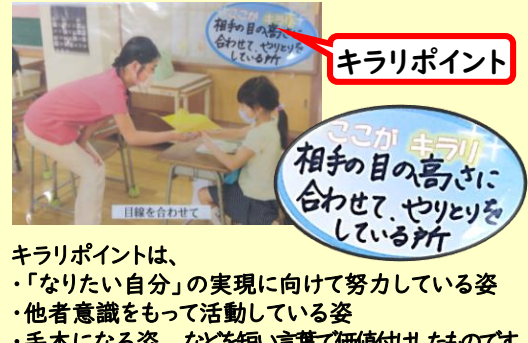
【手立て1】との関連
「自分発見プログラム」ステップ1の学習中に行いました。また、実践では、ペアの友達と活動の様子を見て、よいところを伝え合いました。

友達の「イトコ」を自分から見つけたり、伝えたりすることができるようになったよ

教師の価値付けから学び、互いに認め合う

キラリ☆とおきの一枚

「なりたい自分」に向かって取り組む姿や、みんなのために活動している姿の写真に「キラリポイント」（教師の価値づけ）を載せて掲示しました。



【手立て1】との関連
実践期間中は実践の様子を掲示することで、児童が友達や自分のがんばりに気付くきっかけになりました。また、振り返りの際にも参考にしていました。

みんなが「なりたい自分」を意識したり、工夫したりしながらがんばっている様子がよくわかったよ。みんなすごいな！